

## 2022年度公開講座(前期)は、本学教員が講師となり、オンライン(YouTubeでの録画配信)にて開催いたします。

※配信開始日より6日後までご視聴いただけます。是非お申込みいただき、ご視聴ください。

視聴申込期間

5/23(月)～7/26(火)

申込方法

右記コードを読み取り、お申込フォームよりご入力ください。



本学公式サイト(<https://www.shoin.ac.jp/>)からもお申込みいただけます。本学公式サイトのトップページ→社会貢献→公開講座へアクセスしてください。お問い合わせ先(神戸松蔭女子学院大学 企画課):kikaku@shoin.ac.jp

## 6月24日(金) 『夏の夜の夢』(ウィリアム・シェイクスピア)の進化する演出

約400年前のエリザベス朝時代に活躍したシェイクスピアの劇は、現在でも世界中で上演され続けています。シェイクスピアというと古いと思われるかもしれませんが、決してそういうわけではありません。実は、現代演劇の新しい演出手法の多くが、シェイクスピア作品から発展してきました。この講義では、『夏の夜の夢』を取り上げてその事例を紹介したいと思います。

柁井 智英 (文学部 日本語日本文化学科 准教授)

専門領域 専門は、現代演劇で、特に演出と演技を専門にしています。最近では、映画の舞台作品、そしてディズニーを含めたアニメの舞台作品が増えている傾向から、映画やアニメにも深く関心を寄せています。

## 7月8日(金) ヒトの進化と健康維持に必要な栄養学～糖尿病などを例として～

今回ヒトの進化と摂取栄養素の関係に焦点を当て、現代人の疾病を考える。私たちは長い氷河期や度重なる飢餓を生き延びたヒトの末裔であるためエネルギー効率がよい。また、現代の先進国などでみられる飽食は人類史上きわめて異様な事態である。その結果、肥満や糖尿病が増加し、2021年の糖尿病患者数は5.37億人、糖尿病による死者は670万人となっている(糖尿病アトラス10版)。

坂上 元祥 (人間科学部 食物栄養学科 教授)

専門領域 内科学(糖尿病・代謝疾患)、病態栄養学。2021年3月まで兵庫県立大学で管理栄養士を養成しながら神戸大学付属病院でも糖尿病専門外来を担当していた。2021年4月より神戸松蔭女子学院大学で臨床医学系の講義を担当している。

## 7月22日(金) 住まいから考える、新しい〈家族〉のかたち

わたしたちはいつから家族だけで暮らすことを当たり前と思うようになったのでしょうか。家族だけで暮らすことは、わたしたちに何をもたらしたのでしょうか。この講義では、戦後日本社会における住宅政策と家族について概観した後、多世代にわたって家族以外の他者とも共住する「コレクティブハウジング」と呼ばれる暮らし方を紹介し、居住を通じて築かれる新たな〈家族〉の可能性について考えます。

稲見 直子 (人間科学部 都市生活学科 講師)

専門領域 家族社会学、ジェンダー論。これまで日本とスウェーデンのコレクティブハウジングを調査し、家族とは何かを問い直しながら、血縁や婚姻にとらわれない〈家族〉の可能性について研究しています。

## 6月17日(金) 「持続可能な開発のための教育(ESD)」における国内外の政策動向

コロナ下の社会では、保健医療への緊急対策、社会保障、雇用機会の保障が求められている一方、教育機会の保障、学びの多様化への対応、子どもの未来を切り拓く力の育成なども喫緊の課題になっています。本講座では将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、持続可能な社会の担い手を育てるために実施される国内外の「持続可能な開発のための教育(ESD)」の政策動向についてご紹介します。

郭 曉博 (教育学部 教育学科 講師)

専門領域 比較教育政策学、教育行政学。大学では、教育法規、教育制度、教育経営などを担当。諸外国における教育政策の改革動向や特徴などを研究しています。具体的に、米国と中国における高大接続プログラムの政策動向、特徴及びその影響について研究しています。

## 7月1日(金) 近代以降の日本家族とジェンダー

本講座では、神戸松蔭が開学した明治時代から現代までの日本家族とジェンダーについて考えます。まず、家族の中の性別役割分業、次に、女の子、男の子「らしく」育っていくことに関係する家族環境、最後に、現代家族の形態や機能などの多様化や非婚化・少子化との関係を取り上げます。社会的な関心が高まってきたジェンダーを、ご自身の家族と関連づけながら考えるきっかけになれば幸いです。

土肥 伊都子 (人間科学部 心理学科 教授)

専門領域 社会心理学。中学時代よりジェンダーに関心を持ち続け、ライフワークになりました。ジェンダーは社会学、経済学、法学、文学、哲学などで学際的に研究されています。私は社会心理学者として、ジェンダー社会を維持してしまう個人の心のしくみについて研究しています。

## 7月15日(金) 神戸松蔭タータンに込められた、創立130周年への想い

創立130周年を記念し、神戸松蔭タータンがデザインされました。タータンのデザインは、ファッション・ハウジングデザイン学科の学生たちによって考案されました。学生たちが柄に込めた神戸松蔭の歴史や伝統に対する想いから、神戸松蔭タータンによるファッションショーで学生たちが見せる、神戸松蔭のこれからまで、映像を交えてご紹介します。

井上 裕之 (人間科学部 ファッション・ハウジングデザイン学科 講師)

専門領域 ファッションデザイン。衣服をデザインし、制作する授業を主に担当しています。課外活動として、学生たちと学内外でのファッションショーに取り組んでいます。

## 7月29日(金) 「城」をめぐるプリンセスの物語 — 伝統と現代 —

世界初のカラー長編アニメーション映画『白雪姫』は、ディズニーのプリンセス映画の第1作目です。『白雪姫』(1937)と第2作目『シンデレラ』(1950)を映画『アナと雪の女王』(2013/2019)のエルサの物語と比較し、〈変身・変容〉〈心の拠り所〉をキーワードに、時代によって変化する女性像について考えます。番外編として『おんな城主 直虎』(2017)のヒロインの物語にも触れます。

川中 紀子 (文学部 英語学科 教授)

専門領域 映画理論。オックスフォード大学Centre for Cross-Cultural Research for Womenに研究員(Visiting Fellow)として留学し、異文化を旅する女性の心象風景について考える機会を持ちました。分析心理学から映画の女性像を研究しています。

# 神戸松蔭子育て支援フリースペース 《まつぼっくり》



子どもと保護者

子育て中の親子が安心して集えるスペースを提供します。

参加者は就学前のお子さんと保護者です。

“まつぼっくり”では経験豊かな保育士と一緒に遊んだり、保護者の相談にのったりしています。また、子どもが大好きな学生や地域の方々も参加しています。

遊びを通してさまざまなことを体験し、楽しい子育てができるよう応援します。



## 実施概要

期間 毎週月・火・水・木・金曜日 週5回

場所 神戸松蔭女子学院大学 5号館  
コミュニティ・ルーム

時間 午前(10時~12時)・午後(1時~3時)

定員 午前・午後各4組程度  
(電話での完全予約制・ご希望の日時をお知らせ下さい)  
※現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、完全予約制でご利用いただいています。詳細は本学ホームページを確認ください。

対象 未就学児と保護者

内容 親子が互いに話し合い交流を深める場の提供  
(お誕生会、季節の行事とあそび、学生との交流等)  
※内容については、新型コロナウイルス感染症の影響により変更されることがあります。

利用料金 無料

問い合わせ 〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町1丁目2-1  
TEL. 078-882-6491 (まつぼっくり)  
E-mail: matsubokkuri@mb.shoin.ac.jp



2022年、学院創立130周年。

Open Yourself, Open Your Future

# 神戸松蔭女子学院大学

教育学部 教育学科 文学部 英語学科/日本語日本文化学科

人間科学部 心理学科/都市生活学科/食物栄養学科/ファッション・ハウジングデザイン学科

〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町1丁目2-1

<https://www.shoin.ac.jp/>

神戸松蔭

検索

